

私たちは、先進の技術で
環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、
お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します

■ 行動指針

私たちは、以下の指針により

開発/調達/生産/販売/使用/廃棄にいたるすべてのライフサイクルで、

環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます

1. スーパーグリーン製品の開発および製品含有化学物質の適正管理を積極的に推進することにより、製品の環境性能を向上させ、お客様および地球環境の負荷低減に積極的に貢献します
2. 地球温暖化対策を積極的に推進し、温室効果ガス(CO₂、PFCs)の排出を削減します
3. 化学物質の適正管理を積極的に推進し、VOC(揮発性有機化合物)の排出を削減します
4. 廃棄物の発生量削減、および適正な再資源化を積極的に推進します
5. グローバルな視点で環境関連法規制、およびお客様とのお約束を順守します
6. よき環境市民となるべく、地域社会に根ざした環境社会貢献、生物多様性保全を推進し、社員一人ひとりの環境意識の向上を図ります
7. 環境マネジメントシステムの有効性、透明性の拡大を進め、継続的な改善と発展を図ります

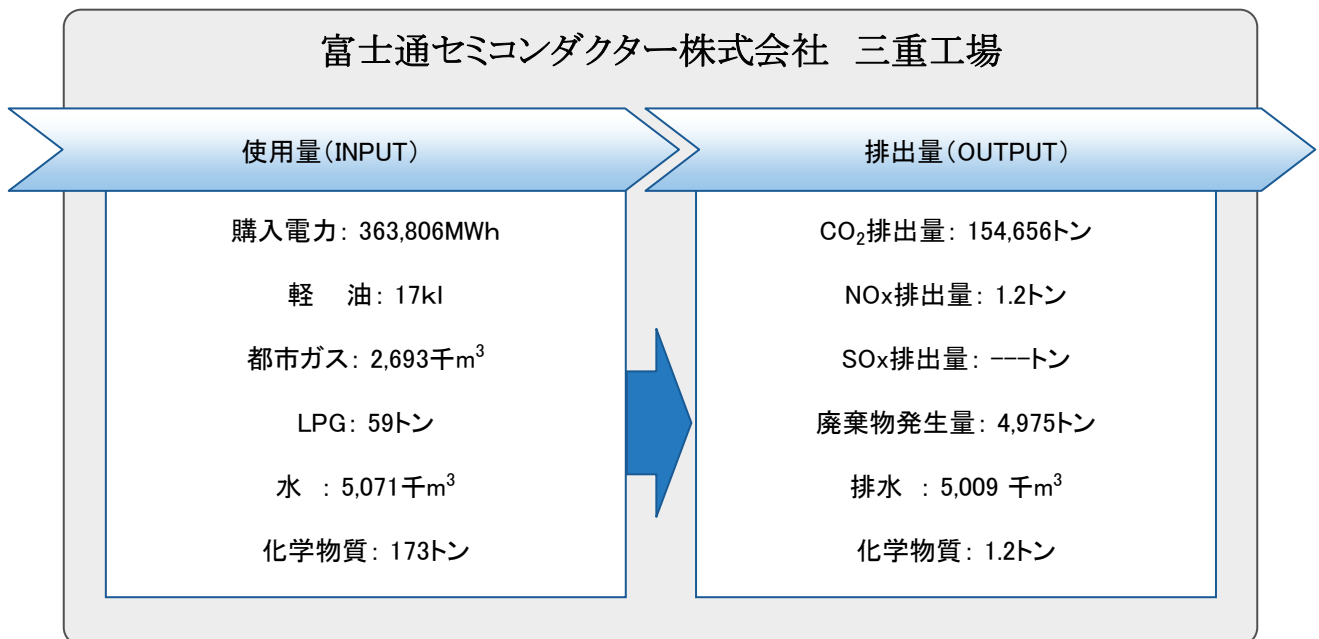
2011年 4月 6日

富士通セミコンダクター株式会社

代表取締役社長 岡田 晴基

環境負荷データ

■ 環境負荷と事業活動



■ (補足) 化学物質の算出方法について

INPUT: 工場におけるPRTR法の対象とされる化学物質の使用量。

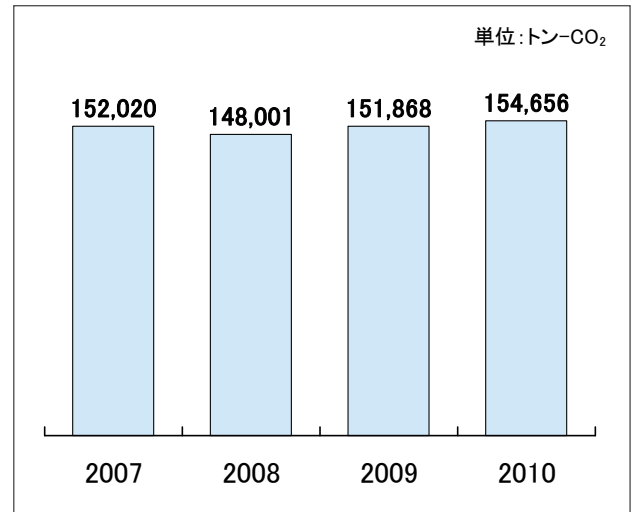
OUTPUT: PRTR法の対象とされる化学物質の工場の排水口や排気口から排出される濃度を測定し、総排出量または総排気量を乗じて算出、あるいは化学物質の収支量に基づき算出。

環境負荷データの経年推移

■ エネルギー消費量

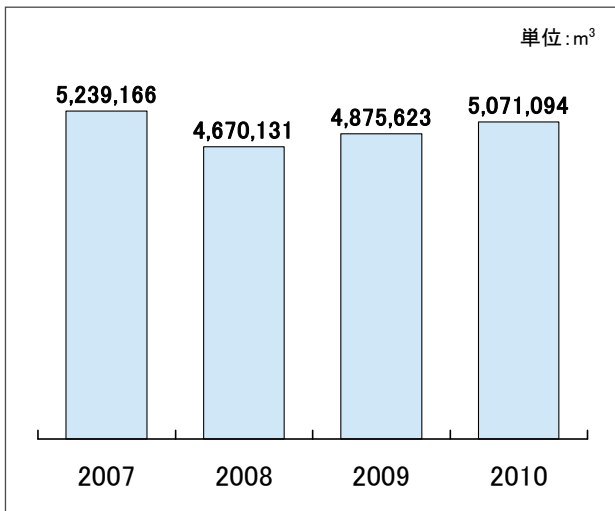


■ エネルギー消費CO₂排出量*

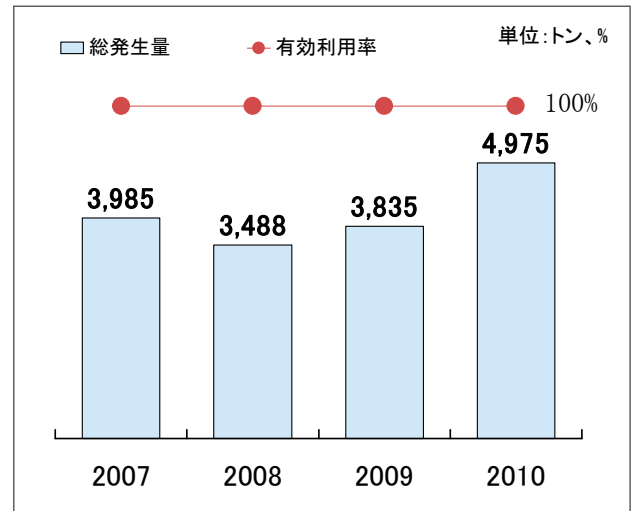


※消費電力CO₂換算係数は基準年より据え置きとして算出しております。

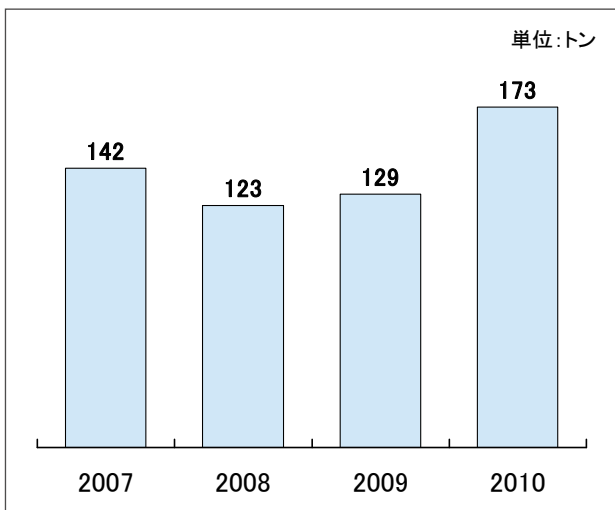
■ 水の使用量



■ 産業廃棄物



■ 化学物質使用量 (PRTR規制対象)



【主な増減要因】

所要回復により、すべての項目について前年比増加となりました。

化学物質使用量では、改正化学物質管理法 (PRTR法) の適用により2010年度から新規2物質が対象に加わりました。